

CONTENTS

- 2 県連臨時総会 / 県青連創立60周年記念式典の開催
協会けんぽ 料率変更
- 3 親族内承継は「まだ先」で大丈夫？
- 4 未来を応援 / 自動車税納期内納付

元気企業紹介

全国唯一、和傘ろくろを量産する
技術 ～後継者と歩む技術継承～

有限会社長屋木工所

和傘づくりを支える「ろくろ」の仕事

当社では、和傘の開閉を支える「ろくろ」を製造しています。ろくろは傘を開いたり閉じたりする際に骨を支える重要な部分です。私は21歳から50年以上にわたり、ろくろ作りを続けてきました。現在では、和傘ろくろを量産できる職人は全国でも私1人となり、和傘づくりに欠かせない仕事として日本の伝統文化を支える大切な役割を担っていると感じています。こうした技術を次の世代につなぐため岐阜和傘協会から派遣された後継者が3年間の修業を終え、令和7年7月より当社の従業員として正式に加わりました。現在は日々の仕事を通じて技術を伝えながら、着実に継承を進めています。また、ろくろの材料となるエゴノキを守るための「エゴノキプロジェクト」に取り組み、和傘づくりを支える森づくりの活動も行っています。



材料となる「エゴノキ」の苗

商工会支援を活用した取組み

商工会に相談したことをきっかけに事業承継計画を策定しました。技術継承は着々と進んでいますが、経営判断や取引先とのやり取りなどは私が行っており、そこで将来後継者が円滑に事業を引き継げるよう承継までの流れをまとめた計画書を作成し、承継後に個人所有の工場を貸す場合の条件を検討するとともに将来従業員を雇用した場合を想定した収支シミュレーションも行いました。こうした計画書を策



和傘の柄と「ろくろ」



代表者の一男さんと後継者の糸織さん

定することで承継後の経営について方向性が見えてきました。また専門家の方に経営状況を見てもらい、その結果、これまで踏み切れなかった価格の見直しも行うことができ、今後の経営についても見通しが持てるようになりました。

今後の事業展開

作成した事業承継計画では、承継後を見据えた5年間の経営計画を立て、売上や利益の目標についてもしっかり考えることができました。私と後継者が同じ目標を持てたことは、とてもよかったと感じています。今後は、ろくろ製造の技術だけでなく経営の考え方や判断の仕方についても少しずつ引き継いでいきたいと思っています。全国で唯一となった和傘ろくろ製造の技術を次の世代へ確実につなぎ、日本の伝統文化を守り続けていくため、後継者とともに努力してまいります。

(所属 岐南町商工会)



代表と妻と従業員

有限会社長屋木工所

代表取締役 長屋 一男

▲ 羽島郡岐南町平島7-26

☎ 058-247-2848



@NAGAYA_MOKKOUSYO



令和7年度 岐阜県商工会連合会 臨時総会を開催



▲坂井田県連会長

県連合会は、3月26日に令和7年度岐阜県商工会連合会臨時総会（予算総会）を、OKBふれあい会館で開催しました。

木嶋勘逸副会長の開会の辞に続き、坂井田良道会長があいさつを行ない、ご臨席いただいた岐阜県商工労働部次長田口博史様、渡辺猛之参議院議員代理・秘書大東由幸様からそれぞれ祝辞を賜りました。

総会では、令和7年度一般会計収支更正予算書(案)同商工貯蓄共済事業特別会計収支更正予算書(案)について、令和8年度事業計画書(案)同一般会計収支予算書(案)同特別会計収支予算書(案)について等全5議案を原案どおり可決承認しました。

本年度は、重点項目として、「中小企業・小規模事業者支援」、「商工会支援」、「職員の資質向上対策」、「「商工会ビジョン」の浸透並びに「商工会未来創造プラン」の実行」の4項目を定めました。主な取り組みについては次のとおりとなっております。

❖中小・小規模事業者パワーアップ応援補助金 新規

県内小規模事業者が商工会・商工会議所等と連携し、働いてもらい方改革の推進等にも繋がる「稼ぐ力」の強化に向けた業務転換等に要する経費の一部を補助します。特に、マイクロワークなど新たな働く環境づくりに取り組む事業者を重点的に支援します。

❖災害発生時における商工会のための事業継続支援

災害時の業務継続および早期復旧と、小規模事業者への支援継続体制の構築に向け、BCPに基づく体制整備を推進しています。今年度はBCPの見直しや訓練支援を通じて、職員の防災意識の向上と円滑な行動につながる体制の確立を目指します。

❖販路拡大支援事業

小規模事業者の販路拡大を支援するため、「岐阜テロワールアカデミー」を実施し、商品改良や営業力強化を図ります。また、『ダイレクト商談会』を開催し、県内事業者の販路開拓を支援します。

岐阜県商工会青年部連合会創立60周年記念式典並びに基調講演を開催

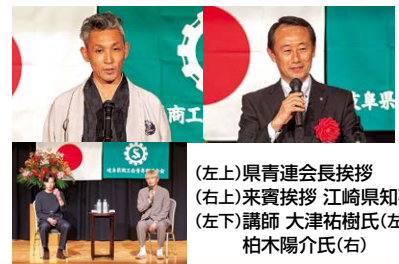
岐阜県商工会青年部連合会は、2月27日（金）、ホテルグランヴェール岐山において、県下商工会青年部員並びに来賓の皆様を含む約190名のご出席のもと、岐阜県商工会青年部連合会創立60周年記念式典を開催いたしました。当日は多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、岐阜県知事の江崎禎英氏よりご祝辞を頂戴いたしました。

式典では、青年部歴代会長より「60周年の歩み」が披露され、これまでの歩みと功績を振り返りました。また、第27代県青連会長の牧野会長より、今後の青年部の在り方や次世代への継承について力強い決意が述べられ、「60周年宣言」が発表されました。

基調講演では、元プロサッカー選手の柏木陽介氏、大津祐樹氏を講師にお迎えし、「地域に根差した活動とリーダーとしてのあるべき姿」をテーマにご講演いただきました。その内容は大変示唆に富むものであり、青年部員にとって実り多い貴重な学びの機会となりました。



▲歴代青年部会長と来賓



(左上)県青連会長挨拶 (右上)来賓挨拶 江崎県知事 (左下)講師 大津祐樹氏(左) 柏木陽介氏(右)

協会けんぽ岐阜支部の加入者・事業主のみなさまへ

令和8年3月分(4月納付分)からの健康保険・介護保険料率が変わります

健康保険料率 **9.80%**

(現行の9.93%から0.13%引き下げ↓)

介護保険料率 **1.62%**

(現行の1.59%から0.03%引き上げ↑)



みなさまの取組に応じて、保険料率が変わるインセンティブ制度についてはこちらをご覧ください。

令和8年4月分(5月納付分)から子ども子育て支援金制度が始まります

子ども子育て支援金率 **0.23%**



詳しくは子ども家庭庁ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 全国健康保険協会岐阜支部 ☎ 058-255-5155 (代表)

協会けんぽ岐阜

検索

※詳しくはHPにてご確認ください

事業承継 まず何から？

大橋先生には全2回にわたり、会員事業者の皆様へ向けた事業承継に資する最初に押さえるべきポイントを連載いただきます。

第1回

親族内承継は「まだ先」で大丈夫？

忙しい毎日の中で、承継の話は後回しになりがちです
まだ決まっていなくても、相談から始められます

岐阜県事業承継・引継ぎ支援センター
承継コーディネーター

中小企業診断士 大橋 義史



今回から本コーナーを担当させていただきます、大橋義史です。岐阜県事業承継・引継ぎ支援センターの承継コーディネーターを務めるとともに、中小企業診断士として、これまで多くの中小企業や小規模事業者の事業承継支援に携わってきました。この2回の連載では、親族内承継を進めるうえで大切な「相談」と「計画づくり」について考えます。今回はその第一歩として、親族内承継で早めに話し合うことの大切さをお伝えします。

親族内承継では、後継者が身近にいるからこそ、話し合いが後回しになりがちです。「そのうち話せばよい」と考えているうちに、承継の準備が進まないまま、交代の時期が現実味を帯びてくることもあります。親族内承継では後継者候補が身近にいるため、承継の意思や時期、役割分担まで共有できていると錯覚しがちです。近い関係だからこそ、確認不足が起きやすいのです。

●親族だからこそ、「言わなくても伝わる」と 思い込みやすい

実際に数々のご相談を受ける中でも、親子の間で気持ちや認識にずれが生じているケースは少なくありません。親としては、事業に入っている以上はいずれ継ぐだろうと考えていた一方で、子は別のことを考えていた、というケースもあります。だからこそ、親族内承継では、早めに本音を言葉にして話し合うことが重要になります。親族内承継で早めに確認しておきたいのは、単に「継ぐかどうか」だけではありません。①承継の時期、②承継後の役割分担、③会社の将来像まで共有していくことが大切です。こ

うした対話が早く始まるほど、後継者の育成や取引先・従業員への説明、株式や事業用資産の承継といった次の準備へも進みやすくなります。

●まだ決まっていなくても、商工会への相談から 始められる

「まだ何も決まっていないので相談しにくい」と感じる方もいますが、その段階だからこそ相談する意味があります。話し合いの前提が曖昧な段階でも、第三者が入ることで論点を整理しやすくなるからです。商工会会員の皆さまにとって、事業承継の最初の相談先は、まず商工会です。商工会を窓口として、事業承継の専門的な知識や支援スキルを持つ当センターのコーディネーター等が同席し、親族内承継の悩みや課題の整理を支援しています。公的支援機関である当センターは、商工会と一緒に、相談無料・秘密厳守で対応しています。

親族内承継は、決まってから動くのではなく、考え始めた段階から余裕をもって相談することが大切です。完璧な準備ができていなくてもかまいません。まずは一歩踏み出して、商工会に相談してみてください。

早めに話し合いたい3つのこと

親族内承継の第一歩





未来を応援

株式会社ハセケン

日本初「Sauna Villa たまゆら」の挑戦
— 建設技術と熱意が生んだ誕生の物語 —

■ 建設業からサウナ事業へ
— 熱意から始まった経営多角化への挑戦

株式会社ハセケンは安八町に本社を置く建設業者です。長谷川健太社長は長年のサウナ愛好家で「本当に満足できるサウナを自分たちの手でつくりたい」という熱い思いで、新たな挑戦として建設技術を活かしたサウナ事業に参入しました。そして、令和5年に養老公園・養老の滝入口駐車場から徒歩1～2分の場所に、旧喫茶店を改装した完全予約制の貸切型サウナ施設「養老たまゆら」を開業しました。



養老たまゆら サウナ内観

旧喫茶店を改装した完全予約制の貸切型サウナ施設「養老たまゆら」を開業しました。

■ 事業資金・認知度・許認可という新事業のハードル

サウナ事業への挑戦は、事業資金の確保や認知度向上、安定した集客の仕組みづくり等が問題となり商工会へ相談にみえました。「養老たまゆら」の開業は、サウナ施設に必要な許認可について行政との調整が必要となり、取得までに約1年を要しました。また、宿泊型サウナ施設「Sauna Villa たまゆら」の構想もあり、次への事業展開の方法が課題となりました。

■ 資金調達・広報・マーケティングによる伴走支援

長谷川社長の熱い思いの実現に向け商工会は、事業計画の整理を行い「稼ぐ力の強化」に向けた支援を実施しました。「養老たまゆら」の開業では、令和4年度における「小規模事業者持続化補助金<一般型>」を活用した看板設置と折込チラシによる販売促進を行い、新規顧客の獲得に繋がりました。また、現在



Sauna Villa たまゆら 施設外観



Sauna Villa たまゆら 中庭

は「Sauna Villa たまゆら」の整備に必要な資金について融資制度の活用支援をしています。さらにプレスリリースによる記者発表を提案し、中部経済新聞に掲載され認知度向上に繋がりました。今後は商圏分析により判明した愛知県向けの情報発信の手段として、インスタグラマーによるマーケティング支援を行います。

■ 宿泊型サウナ施設「Sauna Villa たまゆら」による新たな展開

建設技術を活かした日本初の「アースバック水晶サウナ」の採用・土壁の蓄熱やアロマロウリュ・水滴音の設計など五感で楽しめる空間づくりが特徴の宿泊型サウナ施設「Sauna Villa たまゆら」の令和8年6月の開業を目指し、商工会は株式会社ハセケンの事業発展を後押しし、引き続き伴走支援を行います。

(安八町商工会)



Instagram @YORO.TAMAYURA

株式会社ハセケン

代表取締役 長谷川健太

本社 〒503-0117

安八郡安八町大明神 142-7

0584-71-9258



養老たまゆら公式HP

岐阜県からのお知らせです

自動車税は6月1日までに納税しましょう

▼納付方法は次のとおり

- スマートフォン決済アプリを利用した納付
納税通知書に印字されているeL-QRを読み取ることで納付ができます
- 銀行などの金融機関
- マルチペイメントネットワーク (Pay-easy (ペイジー))
- インターネットを利用したクレジットカード納付
税額のほかに納付額に応じた決済手数料が必要となります
- 全国の主なコンビニエンスストア等

▶自動車税についてご不明な点は、
岐阜県庁HP「自動車税」バナーをクリック！
岐阜県自動車税事務所 ☎058 (279) 3781
※詳細は納税通知書に同封のチラシをご覧ください。

